



11月に入り、半年経ちました。私は、「え！！もう半年経ったの？」と思ったところです。4月を思い出すと、子ども達はとても成長しているなど感じました。ついつい、昨日の子ども達と比べてしまい、ネガティブな言葉を使ってしまう私ですが、成長したこと・頑張ろうとした過程をたくさん褒めたいなと反省したところでした。11月に入り、子ども達も低迷している時期です。そんな時だからこそ褒め言葉をたくさん使ってほしいなと思います。



10月30日(水)の「くじらぐも」の研究授業では、改めて学習指導要領に立ち返ることの大事さを感じました。また、コーディネートに徹底するときは、子どもと同じ目線になり、教科書を持って一緒に考える方法知ることができました。「くじらぐも」が終わり、「じどう車くらべ」に入っています。学習指導要領を読んで、一つ一つの段落ごとの読みだけでなく、全体を捉えながら内容を読ませるようなゆさぶり発問を考えていこうと思ったところでした。

11月29日(金)は、長谷先生の「友情のかべ新聞」の研究授業があります。指導事項は、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、**場面の移り変わり**と**結び付けて**具体的に想像することと書いてあります。【精査・解釈】

解説を見ると、

気持ちの変化・・・**複数の場面の叙述を結び付け**ながら気持ちの変化を見だして想像する。

性格・・・登場人物の境遇や状況を把握し、**物語全体に描かれた行動や会話に関わる複数の叙述を結び付けること**で思い描く。

情景・・・登場人物の気持ちと併せて考えていくこと。

と書いてありました。

「叙述と結びつけて想像する」ことだけでも難しいですが、今回は、「**複数の場面**の叙述を結び付けて想像する」ことが求められています。模擬授業では、始めと終わりの仲の良さを比較した授業展開でした。「仲良くなった」「仲良くなっていない」と楽しんで授業をする子ども達の様子が目に浮かんだところでした。自分の学級ではどう仕組みでいこうかという視点でも参観してみましよう。



「友情のかべ新聞」は、推理するほうができました。余談ですが、ここで皆さんは、この問題を見破ることができるでしょうか。

冷蔵庫のプリンが誰かに食べられてしまった。

A先生は、「犯人は、B先生です。」と発言した。

B先生、C先生もある発言をした。

その後、「犯人は、A先生、B先生、C先生のうち誰か一人。」

「犯人だけが発言で本当のことを言った。」ということが分かった。

犯人は誰でしょう？



答えは、甲まで